

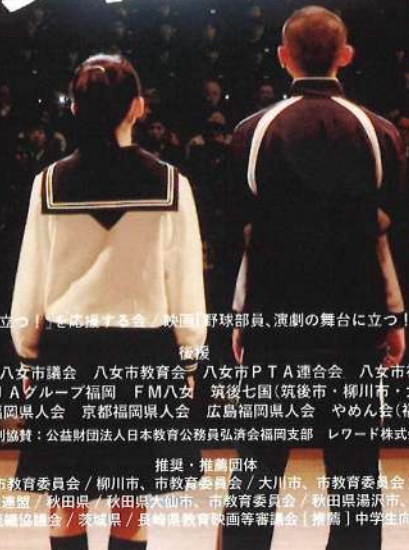
感動、再び  
—おりなす八女で上映決定！

忘れないでほしい！  
どんなことがあっても  
君たちへの応援団がいることを



文化庁文化芸術振興費補助金 助成

# 野球部員、演劇の舞台に立つ！



映画「野球部員、演劇の舞台に立つ！」を応援する会 / 映画「野球部員、演劇の舞台に立つ！」を支援する会・勤める会

後援

福岡県 八女市 J.A.ふくおか八女 八女商工会議所 八女市商工会 八女市議会 八女市教育会 八女市PTA連合会 八女市社会福祉協議会 福岡県茶生産組合連合会 福岡県茶商工業協同組合  
八女筑後医師会 八女筑後歯科医師会 J.A.グループ福岡 FM八女 筑後七国(筑後市・柳川市・大川市・みやま市・広川町・大木町)  
東京福岡県人会 中京福岡県人会 関西福岡県人会 京都福岡県人会 広島福岡県人会 やめん会(福岡市) 久留米市・久留米市教育委員会多数

特別協賛：公益財団法人日本教育公務員弘済会福岡支部 レワード株式会社

推薦・推薦団体

福岡県、県教育委員会 / 八女市、市教育委員会 / 筑後市、市教育委員会 / 柳川市、市教育委員会 / 大川市、市教育委員会 / みやま市、市教育委員会 / 大木町、町教育委員会 / 広川町  
大牟田市、市教育委員会 / 鹿児島県、県教育委員会 / 鹿児島県高等学校野球連盟 / 秋田県、秋田県大仙市、市教育委員会 / 秋田県湯沢市、市教育委員会 / 秋田県高等学校文化連盟 / (公社) 青少年育成秋田県民会議  
社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会 / J.A.あきた女性組織協議会 / 茨城県 / 長崎県教育映画等審議会 | 推薦 | 中学生向・青年(含む高校生)向・一般成人向。家庭向 / 岐阜県 多数

文部科学省  
特別選定作品  
一般劇映画  
青年向き・少年向き

一般財団法人  
映画倫理機構  
青少年映画審議会  
推薦

ぴあ映画  
初日満足度ランキング  
第1位

あきた十文字  
映画祭  
出品作品

ドリバス  
上映リクエスト  
ランキング  
第1位

※これまでに何度もリクエスト上位にあり、東京・福岡・大阪・京都・兵庫・名古屋・仙台等で追加上映されている。



大人たちを忘れえぬ仲間との出会い 青春の時代に引き戻し  
子どもたちには かけがえのない今の瞬間の大切さに気づかせてくれる  
そんな映画が生まれました

STORY

甲子園出場を有力視されていた八女北高校野球部。中でもエースピッチャーのジュン（渡辺佑太郎）は、特に注目され期待されていた。しかし、県大会予選一回戦で8回までパーフェクトに押さえながら最終回ファーストのエラーをきっかけに、まさかの逆転敗退。敗北の責任をめぐってチーム内に広がる不協和音。そんな時、男性部員がほとんどいない演劇部顧問三上先生（宮崎美子）から野球部員を助っ人にほしいという申し出があった。「野球だけの人間になるな」という指導理念を持つ八幡監督（宇梶剛士）はこれ受け、

ジュンとキャッチャーでキャプテンのリョータ（舟津大地）、エラーをしたファーストのカズマ（川籠石駿平）の三人を演劇部の助っ人に送り出した。「俺たちにそんなヒマはない」と反発する野球部員たち。突然の助っ人に役を奪われた演劇部員。とりわけ反発を示したのが三人と同級のみオ（柴田杏花）であった。“なんで野球部なんか”という声に演劇部OB 田川（林遣都）が応えた…。演劇部の目指すコンクールまで2ヶ月、とまどい、反発しあう日々の中で、何かが確かに動き始めた。

スクリーンに、そして裏方に一製作を支えた八女の支援

八女市

福岡県南西部に位置し、人口約65,000名。市の中心部福島地区には白壁町家造りの家並みが連なる。八女茶、いちご「あまおう」、電照菊などのブランド農産品で知られる。また手漉き和紙、石灯籠、仏壇、提灯など伝統産業の町でもある。

良い映画だ。この映画を見ていると、私のそんな青春をまざまざと思い出す。いつも夢を見、しかし不安であり、自分と違う美点を持つ友を捜し求めていた。自分が今日あるのは、あの年頃、自分とは違う良さを持った友を、仲間を、先輩を、教師を積極的に捜し求めたからであると思う。中山監督は、こういう確実に若者たちの役に立つ地道な映画をコツコツと創り続けてきた人である。この作品など、その長年の経験が映画の艶になって輝いている。とくにこんどは、青春というものが持つ気負いと、それに伴う恥じらいとが良いバランスで表現されていて、すがすがしいほどだ。佐藤忠男さん（日本映画大学名誉学長）

渡辺佑太郎

舟津大地 川籠石駿平 山田慎覇 柴田杏花 佐々木萌詠 芋生悠 山田杏奈 鹿毛喜季 田中奈月  
林遣都 宇梶剛士 宮崎美子

監督：中山節夫 原作：「野球部員、演劇の舞台に立つ！」 竹島由美子（高文研刊）

音楽：小穴龍次郎 テーマ曲：「ユビノサキへ」 Good Coming

製作：鈴木高正 鈴木一美 企画：鈴木一美 プロデューサー：鈴木一美 轟山和之 脚本：ハセベヒロウィナー 鈴木一美 片倉章三 山崎大基  
撮影：岡雅一 照明：山川英明 編集：西尾共夫 装飾：鈴木高正 編集：小林由加子 記録：穂盛文字 助監督：片倉章三 製作担当：葛根淳

製作：京映アーツ 助成：文化庁文化芸術振興費補助金

2017年/日本/102分/アメリカンビスタサイズ/5.1ch/カラー © 2017映画「野球部員、演劇の舞台に立つ！」製作配給委員会/京映アーツ/コネクション/ピクチャーズ yakyubu-in-vs-engkibu-in.com

2026  
5月31日

おりなす八女はちひめホール

時間：①10時~ ②14時~

各上映後にトークイベントを行います。

料金：700円（未就学児無料）

定員：250名（事前申込不要）

とびかた映画村実行委員会

問合せ 080-1734-3931（熊手）